

令和2年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	土木課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード	130800
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	雨水貯留施設設置助成金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
②支出の根拠	関市雨水貯留施設設置助成金交付金要綱			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
③支出先	雨水貯留施設を設置する(申請者)			○(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			に対して
	手段	雨水貯留施設の設置費用の助成			を行うことで
	受益者	雨水貯留施設を設置する者(申請者)			が(を)
	意図	設置費用の負担を軽減させることにより、降雨時における雨水の流出を抑制し、河川の増水防止を図る。			という状態にする
⑥期間	R 2 年 4 月 1 日 ~ 3 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	21 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H30決算	R1決算	R2決算	R3予算	○ 補助・負担率を定めている→補助率	
	25	35	99	200	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	定額補助・負担		その他 ()			
③支出先の決算の状況	R2歳入決算額	千円	R2歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円
	R2歳入に占める補助・負担金の割合		%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	補助率及び限度額も妥当である
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	適当である
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	周知不足の為、今後も広報等で周知を図りたい	事業補助は、有効であると考えている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	継続すべき	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	事業促進の為、市民や事業者へ広報・HP等を利用し積極的に周知を図っていく		

